

- 「ラオスの自給的水田農村の出生力低下」……………高橋眞一（新潟産業大）  
「ラオス中部農村からタイへの国際人口移動」……………中川聡史（神戸大）  
「ネパール山岳地域住民の外出行動－ポーターから海外出稼ぎへ」……………溝口常俊（名古屋大）  
（山内昌和記）

## 地理情報システム（GIS）学会2010年度研究発表大会

地理情報システム学会2010年度研究発表大会は、2010年10月23日（土）・24日（日）、立命館大学衣笠キャンパス（京都府京都市）にて開催された。今回で19回目を迎えた本大会は、GISの普及発展とともに規模が大きくなり、多岐にわたる報告・ポスターセッションが行われた。丸2日に及ぶ多数の報告のなかから、とくに地域人口分析と関連の深いものを以下に記す。

- ・「戦前の六大都市における小地域人口統計データベースの構築」……………桐村喬（立命館大学）
- ・「国勢調査基本単位別集計データを用いた狭小商圏の人口推計  
－町丁・字等別集計データとの比較－」……………草野邦明（助統計情報研究開発センター）
- ・「市町村通勤データを用いた都市圏設定」……………福本潤也（東北大学）・北野翔太
- ・「明治・大正・昭和初期における琵琶湖淀川流域の人口分布変化」  
……………山下亜紀郎（酪農学園大学）
- ・「がん早期診断の地理的格差：大阪府がん登録資料の小地域空間解析」  
……………中谷友樹（立命館大学）・井岡亜希子・津熊秀明
- ・「日本の地方都市におけるフードデザートマップの作成とその比較」  
……………駒木伸比古（首都大学東京）
- ・「首都圏における不動産の高齢化に関する空間分析」……………川向肇（兵庫県立大学）・岩場貴司  
（小池司朗記）

## 2010年度人文地理学会大会

2010年度人文地理学会大会が、2010年11月20日～22日（22日は巡検のみ）、奈良教育大学（奈良県奈良市）において開催された。60件の一般研究発表、および4件の特別研究発表が行われ、この他に同時開催された研究部会で4件の研究発表がなされた。人口関連分野についても多くの発表があった。以下、主なものについて発表タイトルを記す。

- 「近代移行期の天然痘による疾病災害研究の課題」……………川口洋（帝塚山大学）  
「中山間地域のUターン者・Uターン者の実態－和歌山県新宮市の事例から－」  
……………中村拓・今井藍子・寒川万里菜・平川隆啓（大阪市立大学）  
「兵庫県農村地域におけるUターン・Iターン移動－多可町加美区の事例－」  
……………中川聡史（神戸大学）  
「2000年以降の京都府における市区町村人口の変動過程  
－人口の自然増加と社会増加を用いた類型化による分析－」……………山神達也（立命館大学）  
「明治末期以降の日本の6大都市における小地域人口統計」……………桐村喬（立命館大学）